

2017

ひとバチで空気をを変える!

# 薩摩琵琶 からの メッセー

●出演：琵琶デュオ

薩摩琵琶奏者

後藤幸浩

(ごとうゆきひろ)

水島結子

(みずしまゆうこ)



起源はペルシャあたりといわれ、奈良時代に大陸より伝わり、日本の音楽を彩ってきた楽器＝琵琶。

『平家物語』を語り伝えた琵琶法師は皆さんもご存知のほですが、実は琵琶にはさまざまな種類があります。

今回、注目するのは「薩摩琵琶」。その存在感と音色は非常に刺激的です。江戸時代に薩摩藩(鹿児島)で起こり、明治時代から

昭和初期にかけて、日本全体で社会現象となるほど流行しました。



そんな薩摩琵琶の伝承と、現代社会における「現在進行形の薩摩琵琶」を模索するアーティスト、琵琶デュオの音楽と想いに触れてください。

まずは音楽を楽しんでください！そして、日本の文化に果たした伝統楽器・琵琶の役割、なかでも薩摩琵琶の「光と影」について一緒に考えてみませんか。

(古文科 小野木豊昭)

●司会：小野木豊昭 (古文科講師)

## ◆琵琶デュオ ライブレポート



江戸時代より続く4本弦の薩摩琵琶奏者・後藤幸浩と、昭和の改良型5本弦の薩摩琵琶奏者・水島結子による男女異流派、異色の薩摩琵琶デュオ。

超絶技巧による激しい奏法に乗せて、古典から新作、カバー曲に至るまで、多彩な音楽性で歌い、語る。

琵琶が持つ「さわり」という“倍音・雑音発生装置”から発する音色をこよなく愛し、社会と向き合いつつ日々魂を削る、異端な現代の“琵琶法師”。

後藤幸浩は、高校時代にギタリストを目指したが、黒人

ブルース・ミュージシャンの教えを契機に薩摩琵琶に転向。

水島結子は、現代社会における琵琶の衰退と、隣国韓国における伝統文化受容のあり方に接して一念発起、早稲田大学在学中にソウル大学国楽科(伝統芸能科)に学部生では初の交換留学生となる。

現在、琵琶デュオとして学習院大学の非常勤講師も勤めている。2017年2月にはニュー・アルバム『二人囃子』をリリースし音楽専門誌で好評を得る。水島結子のバンド版アルバム『BIWA AND LIPS』もリリース。

7月6日(木) 17:30~19:00

池袋校西校舎 3A教室

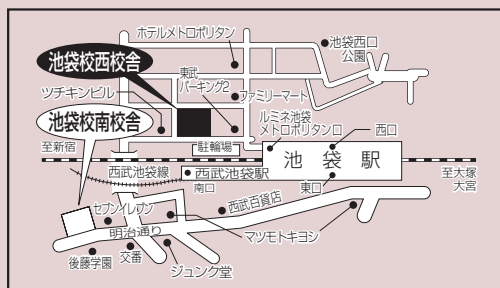


入場無料  
申込不要

〒171-0021 豊島区西池袋 1-3-12

☎ 0120-198-630

●JR-西武池袋線・東武東上線・東京メトロ丸の内線・有楽町線・副都心線池袋駅  
メトロポリタン口より徒歩1分



※どなたでも自由に参加できます。